

# 2020年義務化基準を大きく超える高断熱パッケージ。

2020年のZEH基準0.87を大きく超える、 $U_A=0.6$ を実現する高断熱仕様です。

ZEH
東京(6地区):  $U_A=0.6$ <sup>※2</sup>

断熱材      天井      充填

**旭ファイバーグラス**      アクリア 14kw  
 155mm

断熱材      床      充填

**旭ファイバーグラス**      アクリア  
 Uボードピンレス 24k  
 80mm

断熱材      壁      充填

**旭ファイバーグラス**      アクリア 14kw  
 105mm

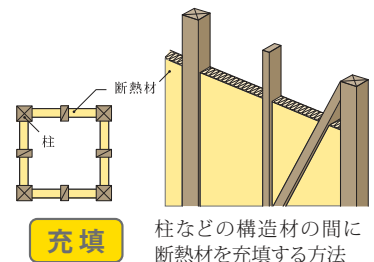
樹脂アルミ複合サッシ

熱貫流率 2.33W/m<sup>2</sup>・K相当

YKK AP

※1: 2020年に義務化される強化外皮基準における1地域(旭川など)  
 ※2: 当社モデルプランを元に算出したものです。また、間取り・プランによって異なります。

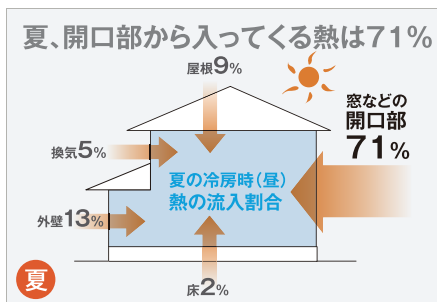
## 断熱工法



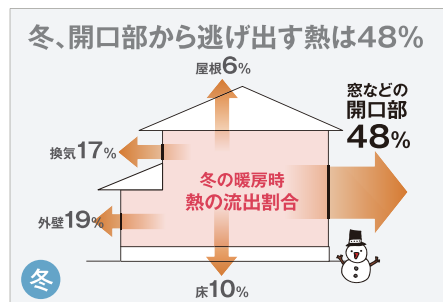
## 熱の出入りは、住まい全体のうち約半分が窓・サッシから。

熱の出入りが多いのは、サッシを含めた開口部。窓ガラスやサッシの断熱性能を高めることは、住まい全体の断熱性能を高めることに繋がります。部屋の温度差が少なくなり、ヒートショックの心配も少なくなるので健康にもよいのです。

### ●冷暖房時に開口部から熱が流入する割合

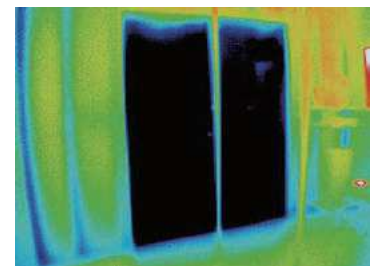


数値は断熱材の熱伝導率[W/(m・K)]

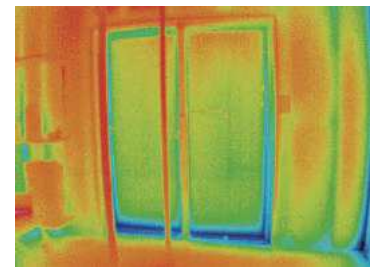


出典：(一財)省エネルギーセンター「かしこいリフォームガイド」より

### ●単板ガラスと高性能ガラスの比較 アルミ(単板ガラス)の部屋



### 高性能樹脂窓の部屋

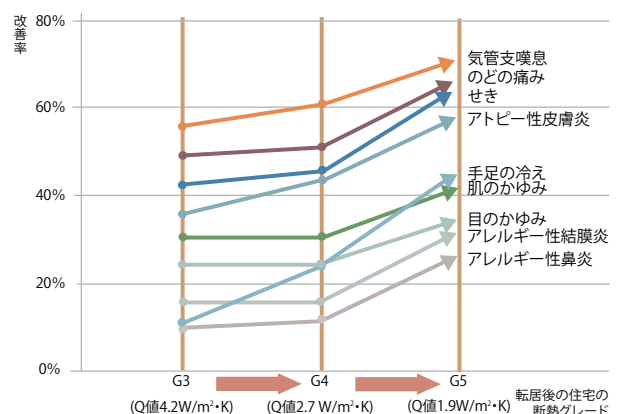


資料提供: YKK AP株式会社

## 住まいの断熱性能を高めて健康・快適に。

結露減少によるカビ・ダニの発生改善のほかに24時間換気による空気環境の改善、断熱性能による暖房方式の改善、遮音性能の改善などが複合効果として考えられます。

出展: 岩前篤【断熱性能と健康】 日本建築学会・環境工学本委員会・熱環境運営委員会・第40回熱シンポジウム



# 構造躯体の耐震性

## 構造躯体の耐震性 【耐震等級2】

極めて稀に発生する地震に対し、継続利用のための改修の容易化をはかるため、**損傷のレベルの低減をはかること**

要件：壁量、壁の配置、床倍率、接合部、基礎、横架材について計算により耐震等級2の基準をクリアする。

**耐震強度1.25倍の「強耐震」構造は、学校・一般的な病院と同じレベル相当。**

